

(2) 管内の概要

当保健所は、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡2町、本巣郡1町の8市町を所管し、そのうち山県市、瑞穂市、本巣市、本巣郡については、本巣・山県センターを置いて担当させている。

地勢は、南部に愛知県と境をなす木曾川、中央部に長良川、西部に根尾川・揖斐川がある。南部は肥沃な濃尾平野となっており、北部は能郷白山（1,617m）をはじめとして1,000m級の山々が越美山地を形成し、福井県と接している。

管内の面積は、789.63km²で県土の7.4%を占めている。管内の人口は、平成20年10月1日現在393,008人と県人口の18.7%を占めており、また、65歳以上の高齢化率は19.8%であり、管内特徴としては、市町別にかかなりの格差はあるものの、全国や県と同様に年々高齢化が進行している。

主な交通網は、東西に名神高速道路、21号、303号の国道、東海道新幹線、東海道線、高山線のJR線や名鉄の各線が横断し、南北には、東海北陸自動車道、22号、157号、256号の各国道や樽見鉄道が縦断して基幹交通網を形成し、重要な交通拠点となっている。

産業は、北部山間地では、住宅用建材を中心とする製材業が、都市部では、消費者に近接する利点を生かした、都市近郊型の農業（野菜、富有柿、花き園芸など）が形成されている。また、アパレル産業は盛時の勢いはないものの、近年は、航空機産業をはじめとする先端的な企業・研究機関などが集積されつつある。

管内の公衆衛生事情は、市町保健センターなどの保健施設や下水道等が年々整備されてきており、生活環境の向上と住民の健康に対する意識の向上により、疾病予防や健康増進についての公衆衛生の水準が高まっている。

なお、岐阜地域の中心部に位置する岐阜市は、岐阜市保健所が所管している。